

# 知多南部広域環境センター 建設工事だより



(完成イメージ図)

令和2年7月発行 | 第3号 | 知多南部広域環境組合 (構成市町: 半田市、常滑市、南知多町、美浜町、武豊町)

## ▶ 工事工程

年度	令和元(2019)			令和2(2020)				令和3(2021)				令和4(2022)	
	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~	10~	1~	4~	7~
土木建築工事	←			←				←				←	
				ランプウェイ(西側)				ランプウェイ(東側)					
プラント工事				←				←				←	
				破砕機等据付 焼却炉・ボイラー・排ガス処理設備など機器設置								試運転 供用開始	
地下水 モニタリング	←			←				←				←	
				採水:5月、8月、11月、2月									

## ▶ 工程ピックアップ

5月26日

鉄骨の組み立て工事が始まりました。建物の柱にあたる鉄骨部材(右写真中央)が現場に運び込まれ、巨大なクレーンで北側の灰ピット部分に据え付けられました。

これから秋にかけて一気に構造物が高くなり、道路からも骨組み全体が見えてきます。



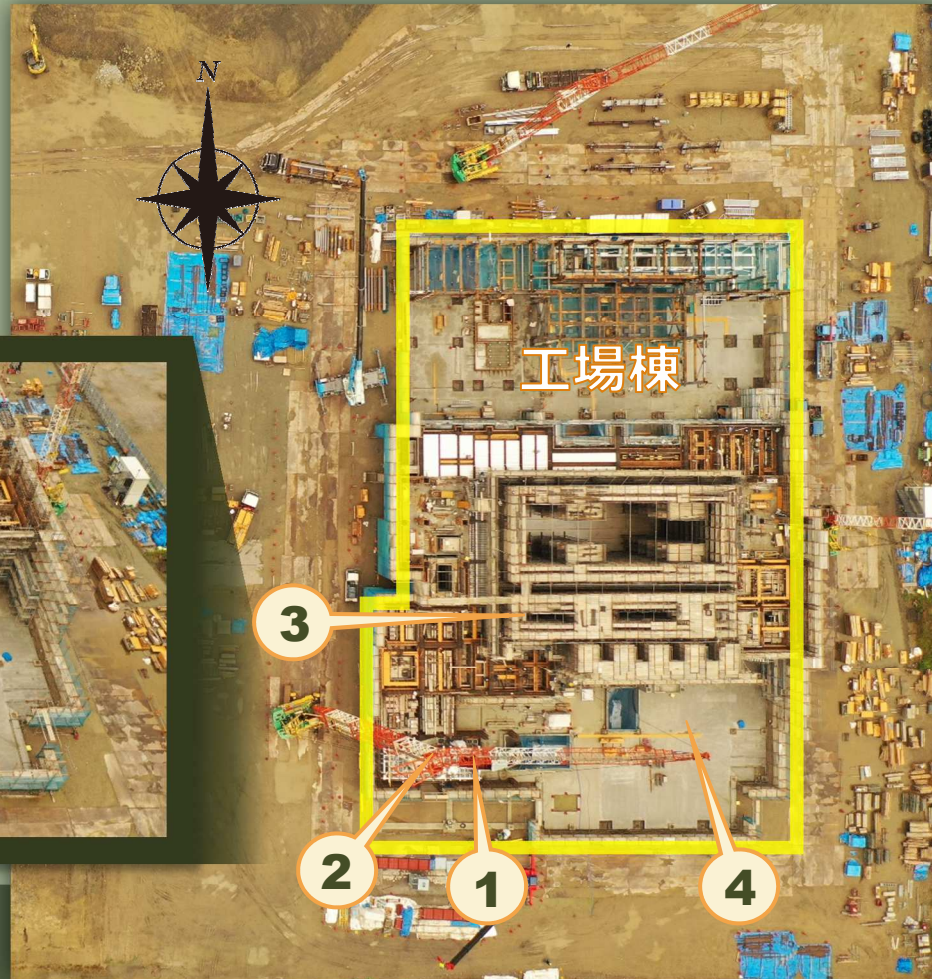
# 施工中の工事を解説！

現在の定点写真 (令和2年6月12日現在)

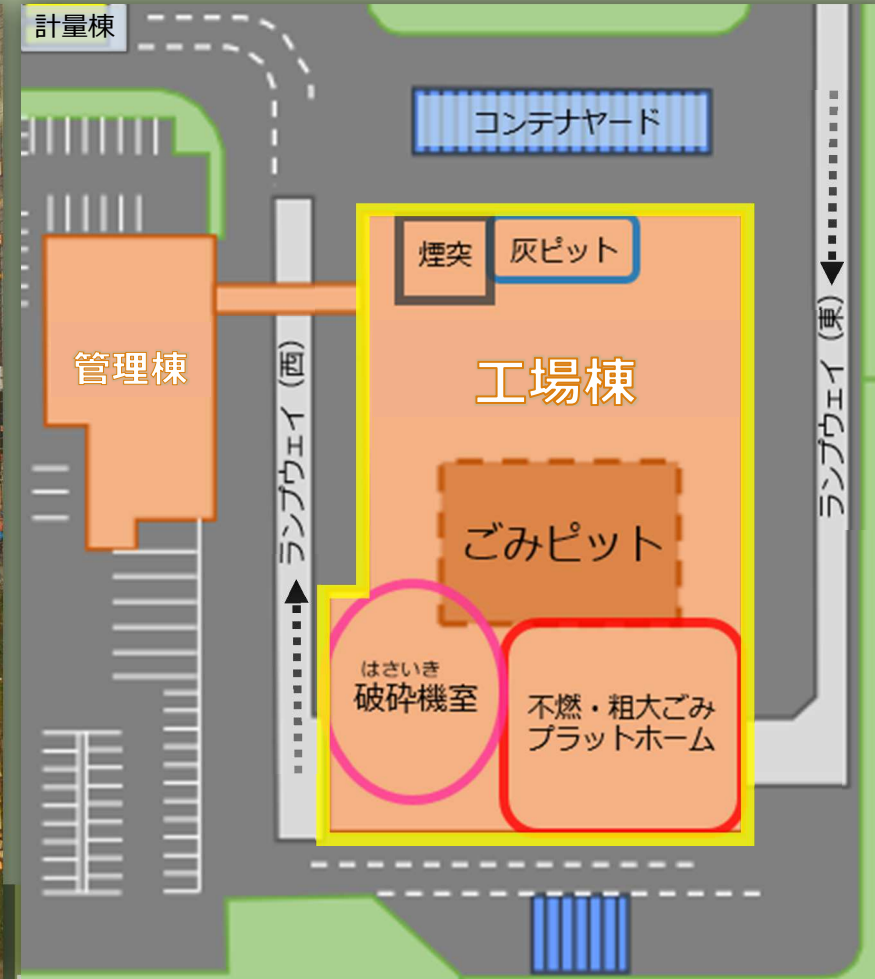
現在の工事状況の写真です。

中央には燃やす前のごみを溜める「ごみピット」が4階部分まで姿を見せ、南東部には不燃ごみ・粗大ごみを運び入れる「不燃・粗大ごみプラットホーム」ができました。南西部にはそれらを破碎する機械が続々と据え付けられています。

↓南側上空からの写真

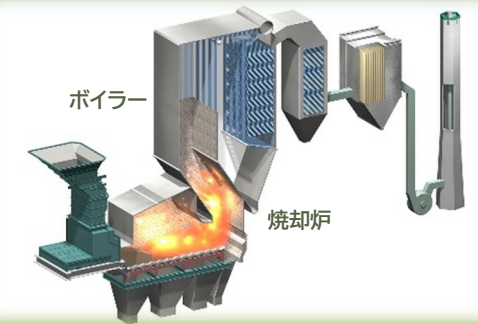


## 完成時の配置図



冒頭の工程ピックアップでご紹介したとおり、北側では、ごみを燃やした後に分別した灰を溜める「灰ピット」の鉄骨工事が始まりました。これから秋にかけて、北側全体の鉄骨工事のほか、南側3階部分となる「可燃ごみプラットホーム」のコンクリート工事、可燃ごみをピットに入れた後プラットホームの出口から下っていく「西側ランプウェイ」の土木建築工事が行われます。

9月からはよいよ、ごみを燃やすボイラー・焼却炉・排ガス処理設備・排水処理設備など、焼却場の主要設備が登場する予定です。

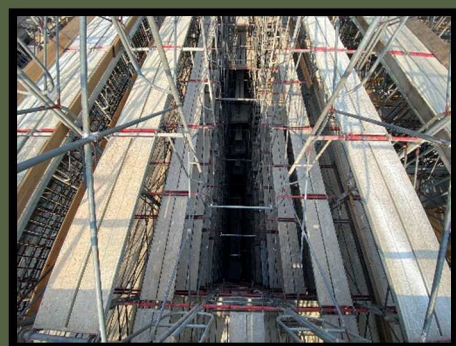


## ▶ 工事ピックアップ



### 1. 前処理破碎機へ粗大ごみを送る供給コンベヤ中央部

1階の粗大ごみ受入ホッパから投入された粗大ごみはこのコンベヤにより7m程の高さまで上り、奥に見える前処理破碎機へと送られます。



### 3. 第1ごみピット上部からみたピットの底

現在は17m程の深さですが、最終的におよそ26mもの深さとなります。第1ごみピットの北側には、第1より大きな第2ごみピットがあります。



### 2. 粗大ごみを砕く前処理破碎機の刃の近影

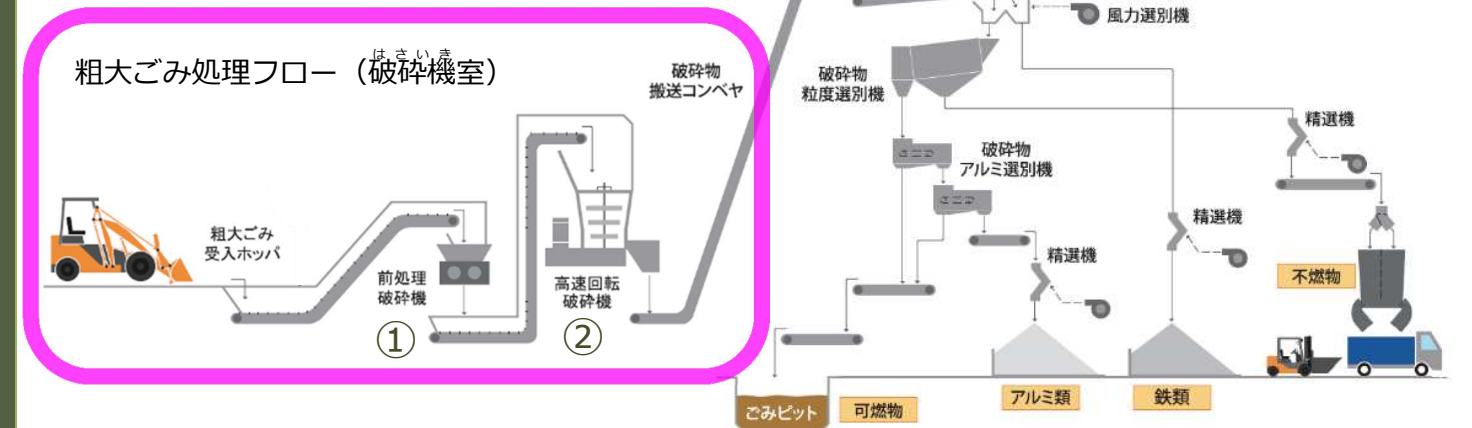
1のコンベヤで送られた先にある前処理破碎機には厚さ7.5cmもの分厚い刃が並び、強力な破碎力で粗大ごみを小さくします。



### 4. 不燃・粗大ごみプラットホームからみたごみピット外観

南側1階にある不燃・粗大ごみプラットホームからの様子です。この真上に3階可燃物プラットホームが作られます。

## ▶ 主要機械紹介



### ① 【前処理破碎機 (まえしより・はさいき)】

受入ホッパに投入された粗大ごみを、後の処理がしやすいように、先に低速で粗く破碎を行う機械。二軸ある破碎機で、例えるなら超強力なシュレッダー (左ページの2)。

### ② 【高速回転破碎機 (こうそくかいてん・はさいき)】

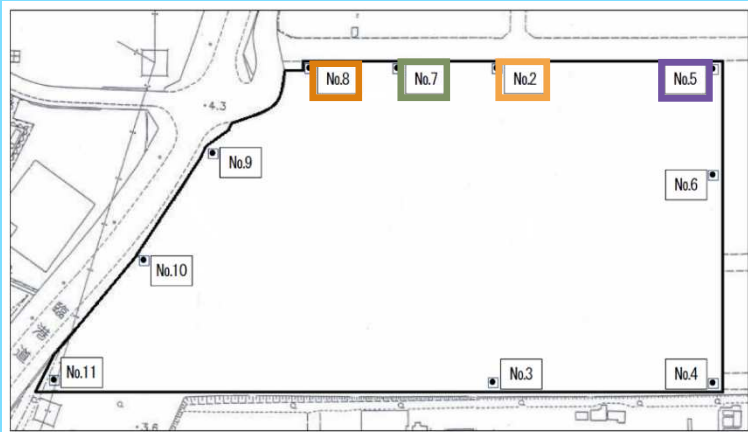
前処理破碎機で破碎されたごみを高速でさらに細かくする機械。衝撃・圧縮・ねじり・こすりによる複合破碎作用を繰り返し、鉄やアルミも均一な球形となって排出される。その後の資源選別をしやすくする重要な工程を担う。

## ▶ 地下水モニタリング

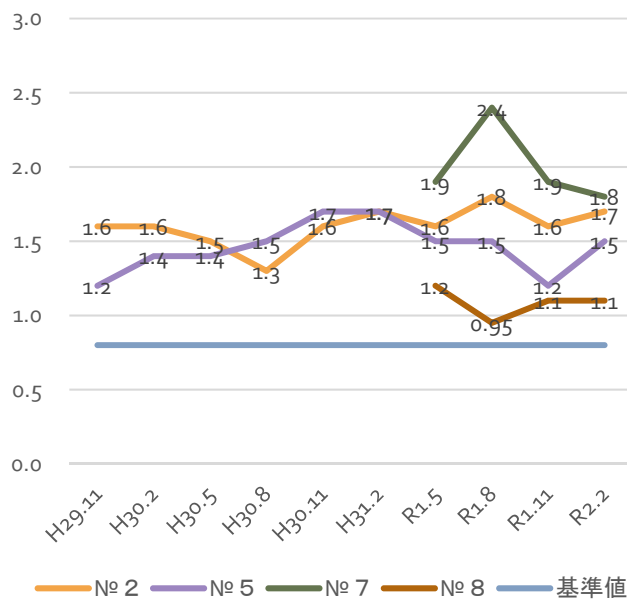
(令和2年2月採水)

地下水モニタリングについては、平成31年3月公表の土壌汚染等調査結果に基づき、愛知県の指導のもと令和元年5月分から分析物質及び観測井戸を追加実施しています。

観測井戸位置図



ふっ素及びその化合物 (mg/L)の推移



### ① 重金属等

調査の結果は右表のとおりです。これまで同様、No.2,5,7,8の4つの観測井戸において、ふっ素及びその化合物の環境基準超過がありました。

濃度の推移は右上のグラフのとおりです。以前の工事日より (No.1) でも触れたとおり、実質的な健康被害は発生しないと判断しておりますが、今後も数値に大きな変動はないか定期的に調査してまいります。

重金属等モニタリング結果 (令和2年2月採水結果報告書より)

観測井戸 (井戸No.)		No.2	No.5	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	地下水環境基準 (mg/L)
地下水位	GL-m	2.32	2.36	1.97	2.00	1.84	1.76	1.71	
	T.P.m	1.57	1.29	1.60	1.67	1.87	1.99	1.94	
分析項目	ふっ素 (mg/L)	1.7	1.5	1.8	1.1	0.27	0.34	-	0.8
	鉛 (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
	砒素 (mg/L)	<0.005	0.010	<0.005	0.006	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
	六価クロム (mg/L)	<0.01	<0.01	-	-	-	-	-	0.05
備考		採水日	2/7	2/6	2/7	2/6	2/6	2/6	

赤字は基準値超過したことを示す 「-」は測定対象外項目

### ② ダイオキシン類

調査の結果、以下のとおり環境基準超過はありませんでした。(単位: pg-TEQ/L)

No.2...0.060, No.3...0.026, No.4...0.057, No.5...0.033, No.6...0.041 (環境基準...1)

※過去の推移については組合ホームページをご確認ください。

## ④ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めています



工事の現場では、毎日の検温報告と体調確認を徹底し、37.5℃以上や体調不良者の入場制限を実施しています。また、リモート機器を活用して会議を行うなど、現場が3密にならないよう取組を行っています。

また、熱中症に注意する時期となるので、飲料の携帯や塩分補給、注意喚起の看板の設置等、現場の熱中症対策にも努めています。